

～ ある日の鬼瓦物産(ファンシー雑貨販売業)その15～

『でも、勇気までなくしたら、全て失ってしまう』

- くさたべ君　　えー、たいへんお待たせを致しました。ただいまより我が鬼瓦物産ファンシー事業部が社の命運を賭けた新デザインを発表いたします。皆さんはこれでじゃんじゃん売ってくださいね。いきますよ。3、2、1、オープン・ザ・BOX！！ジャー-----ン。
- 社員一同　　……………(沈黙)……………
- くさたべ君　　あれ？なんか静かだな～。どうですか？かわいいでしょ～。ほら、もっと盛り上がって。
- 佐藤営業部長　　オイ、くさたべ、新デザインでこれか？前と同じ『ねずみのダンタン』じゃねえか。それに何だ、横にくっついてるピンクのは？ダンタンの彼女？こっちの青いのは？ダンタンの友達？黄色いのは？弟？オイオイ、冗談じゃないぜー。この前会議で報告したろ。ダンタンはもう売れねえんだ。終わったんだよ。なのに何でまたダンタンなんだよ。アホかてめえは。
- 山本工場長　　サンプル頼まれた時、同じ事言ったんですよ。なのに、こいつ「責任は全部自分が持つから」とかぬかしやがって。……………見てみる、みんなの顔。困ってるじゃねえか。大体ケツの青いお前が、どう責任とれるっていうんだよ。
- 森田サービス課長　　佐藤部長や山本工場長の言うとおりだと思う。悪いが、これは俺たちは扱えないな。
- くさたべ君　　扱えないってどういうこと？
- 佐藤営業部長　　売る気は無いってことだよ。幸いダンタンが売れなくなっても、他がまあまあ動いているからな。さあ、みんな、ここはお開きだ。営業に出かけてくれ。
- くさたべ君　　えー！ちょっと待って。まだ話終わってないですよー。佐藤部長！山本工場長！森田さん！
- ハル(税)夏川担当　　……………みんな、行っちゃいましたね……………。
- デザイン部美樹　　グスン、、、あたし…会社…辞める。みんなの言う通りよ。ダンタンはもう終わったのよ。
- くさたべ君　　そんな事ないよ。みんな、わかってないだけだよ。
- デザイン部美樹　　無理しなくてもいいわ。今までありがとう。じゃあ、私、片づけものがあるから。
- くさたべ君　　無理なんてしてないよ。美樹ちゃん、何もしてないうちからあきらめたらダメだよ。
- デザイン部美樹　　やって大きな失敗したら、みんなに迷惑かけちゃう。何もしない方が賢いわ。
- くさたべ君　　待って。わ、わかった美樹ちゃん。これ以上は言わない。その代わり、このダンタン、全部僕に預けて。僕が売ってくる。
- ハル(税)夏川担当　　え～？くさたべさんが？営業なんてやったことあるんですか？。
- くさたべ君　　ないよ、ないけどそんな事言ってもらえない。うまく言えないけど、うちの会社がオリジナル商品のダンタンを捨ててしまったら、何だかとてもマズイ事になるような気がするんだ。
- デザイン部美樹　　……………わからないけど、好きにして。
- (その時、くさたべの頭にはひとつの言葉が浮かんでいた。)
- 物をなくせば、小さな物を失うし、信用をなくせば、大きなものを失うだろう。
 でも、勇気までなくしたら、全てを失ってしまう。(ジョン・F・ケネディ大統領)
- くさたべ君　　～社長室に向かって駆け出しながら、くさたべは思った。～
 (あんな事言っちゃって俺、どうするつもりだ？バカじゃないのかな？でも、、、このままだと、、、心配しすぎ？いや、、、でも、、、あ～わかんないや。頭悪いんだから考えたってダメだ。もし失敗したら会社クビかな。田舎の母ちゃん泣くたるな。バカだな俺、でも…でも…でも…)